日本歯科大学新潟病院と地域医療をむすぶ

Vol.48
2023.5.1

日本歯科大学新潟病院 IVY NEWS LETTER

～地域歯科診療支援病院と地域医療の融合を目指して～

新潟病院のこれから



病院長
山口　晃

令和3年10月に新潟病院（歯科）と医科病院を統合し、約1年半が経過しました。新しい新潟病院では、これまでの在宅歯科医療の実績を踏まえ、今後需要が増すとされる地域包括ケアにおいて活躍できる歯科医療従事者の育成を目指して、新しい医科歯科連携の確立と人材育成・教育体制を構築中です。

地域包括ケア病床の前準備として、リハビリ部門充実のために令和4年度に言語聴覚士1名と理学療法士1名が入職、がんリハと摂食嚥下リハを中心としたリハチーム（医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、理学療法士）による必要研修も修了しており、本年度から徐々にリハを実施する予定です。また、歯科と医科の地域医療連携室を統合し、社会福祉士も加えた3名体制として地域包括ケア病床設置後の円滑な業務遂行に向けた準備も進めています。

地域包括ケアでは、間近で接する歯科医師や歯科衛生士、薬剤師が、患者さんやご家族の変化にいち早く気付ける職業であるとされています。医学的知識や医療行政の知識・経験を備えた歯科医療従事者を育成できる病院への転換を進めていく予定です。また、従来の医科歯科連携は、自領域の治療終了後に他科を紹介する直列的連携が主体だったと思いますが、これからは初診から一緒に診ていく並列的連携が重要です。本院は、医科歯科統合病院ですので、その特性を活かして理想的な医療連携を実践できる病院を目指します。

5月から新型コロナウイルス感染症は感染症法5類に移行しますが、新潟病院では今後も院内感染防止に努めて参ります。また、新型コロナウイルス感染拡大や各部署の世代交代に伴う人員減少の影響等で、診療や入院・手術の予約の面で皆様にご迷惑をおかけしているかと思います。現在、若手の人材育成に力を入れておりますので、今後さらに質的な面でも向上が図れると考えております。皆様のご期待に添えるよう全員で精進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

歯科医師臨床研修

～新潟病院の現状と令和4年度からの新制度について～

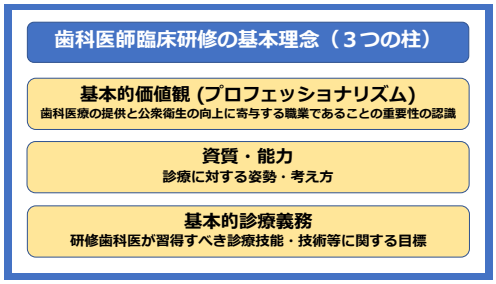


●総合診療科･臨床研修管理委員長
佐藤　友則

◆1.直近の制度改正



平成18年度に歯科医師臨床研修制度が必修化されて以降、概ね5年をめどに制度改正が行われており、社会環境の変化、歯科保健医療を取り巻く環境に対応した歯科医師養成、歯学教育のモデル･コア･カリキュラムの改訂を踏まえ見直しが行われてきました。直近では令和4年度より新たな制度のもと研修が行われています。今回の制度改正では、歯科医師臨床研修の基本理念を踏まえ、歯科医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業であることの重要性を認識させる「A.歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」、臨床研修において求められる診療に対する姿勢、考え方を示した「B.資質･能力」、研修歯科医が修得すべき診療技能･技術等に関する目標を示した「C.基本的診療義務」という3つの柱を中心とした到達目標の見直しがはかられ（図1）、併せて在宅歯科医療や全身管理に係る研修の充実を図る観点から施設での研修内容を補完する施設として協力型研修施設（Ⅱ）研修施設の新設（従来の協力型研修施設は協力型研修施設（Ⅰ）へ）、指導歯科医の質を担保する観点からフォローアップ研修の導入などが今回の制度改正として上げられ、日本歯科大学新潟病院（以下本院）でも令和4年度4月より施設の特徴を生かした研修を継続しつつ、新たな概要、目標、方略、評価法でスタートを切ることとしました。そこで制度の概要を交え、本院で行われている歯科医師臨床研修についてご紹介させて頂きます。



●図1

◆2.本院のプログラムと概要



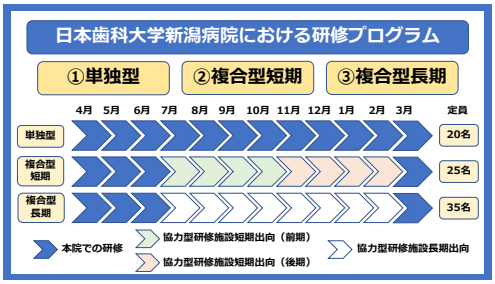
歯科医師臨床研修は、現在、歯科医師法第十六条の二に「診療に従事しようとする歯科医師は、一年以上、歯学若しくは医学を履修する課程を置く大学に附属する病院　（歯科医業を行わないものを除く。）又は厚生労働大臣の指定する病院若しくは診療所において、臨床研修を受けなければならない」と規定があり、本院でも4月から翌年3月まで1年の研修を行っています。4月の

開始期は模型を使用した基礎実習やシミュレーション実習をはじめ、医療安全、感染予防、保険診療や医学管理、情報管理といった講義等行い、4月末日には診療配当や初診担当が開始され、本院、他施設等交え翌年3月末日まで研修が行われています。

さて本院の研修プログラムですが、3つのプログラム（単独型、複合型短期、複合型長期）で構成されています（図2、図3）。ここでは管理型臨床研修施設である本院の研修についてご紹介させて頂きます。研修の中心は総合診療科で行われ、高頻度治療（一般診療）を中心に研修を行い、病棟研修、必修研修および選択研修等を実施しています（図4）。

必修研修では訪問歯科研修、障害児・者研修、睡眠歯科研修を実施し、併せて地域歯科保健活動への参画、医療行政や地域医療活動の実情を知るべく保健所研修も選択制で、新潟大学と共同で実施しています。

また選択研修として、週1日専門性の強い他科、他診療室（インプラント、歯科麻酔・全身管理、矯正歯科、小児歯科、口腔外科、放射線など）で研修を行い、多くの視野から、また包括的な対応のできる歯科医師を育成すべく研修を実施しています。中でも訪問歯科診療は本院では早くから開始し、全国的にも大学病院での臨床研修は充実した環境で実施しています。更に研修開始時期では摂食嚥下の講義・実習を行うなど超高齢社会を踏まえた研修とし、ライフステージに応じた内容で現在進めています。



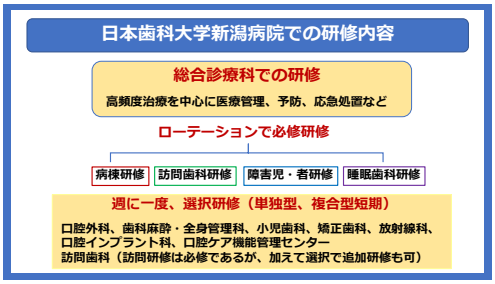
●図2

臨床研修施設区分

施 設	内 容	研修期間
単独型	単独で臨床研修を行う施設	1年
管理型	複数の臨床研修施設で臨床研修を行う場合に管理する施設	3か月以上
協力型（I）	複数の臨床研修施設で臨床研修を行う場合に管理型臨床研修施設と共同して実施する施設	3か月以上
協力型（II）	複数の臨床研修施設で臨床研修を行う場合に協力型臨床研修施設とともにグループ化研修を実施する施設	5日以上30日以内

厚生労働省HPより

●図3



●図4

◆3.多面評価の推進

評価法について、本院はこれまで様々な評価法を取り入れ対応してきましたが、評価の中心は指導歯科医の評価となっていました。今回の制度改正では、評価法として多面評価（上司以外のあらゆる立場から評価を受ける）の推奨が上げられており、本院でも研修に関係する他職種からの評価を行って頂くこととしました。これらの導入は歯科医師と異なった観点もあり、研修歯科医の行動変容や評価の妥当性に繋がることも期待しています。

◆4.おわりに

社会に出たばかりの研修歯科医にとって、臨床研修は歯科医師人生の第一歩です。確立された歯科医師臨床研修制度の中でより良い歯科医師が輩出できるよう本院として更なる努力を重ねて行くつもりですので、皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

在宅ケア新潟クリニック
～開院6年目を迎えて～

●在宅ケア新潟クリニック
医長
髙田　正典



◆はじめに

日本歯科大学新潟生命歯学部（当時　新潟歯学部）は、全国に先駆けて、昭和62（1987）年に在宅往診（現在の訪問歯科診療）をスタートさせました。その後、将来を見据えた学生教育と、地域に根ざした歯科医療を提供することを目的に、平成30（2018）年4月　三条市に訪問歯科診療専門の「在宅ケア新潟クリニック」を開院し、令和5年4月で6年を迎えました（図1）。6年が経過し、ようやく診療も軌道に乗り、地域に溶け込めてきたところですが、さらなる使命を果たすべく地域医療に貢献していきたいと考えています。在宅ケア新潟クリニックを開設できたのも、ひとえに新潟県歯科医師会をはじめとした多数の関係者の支援のおかげと、この場を借りて感謝申し上げます。



●図1：在宅ケア新潟クリニック（三条市）

◆在宅ケア新潟クリニックについて

当院は歯科治療専用ユニットのない訪問歯科診療専門の歯科医院です。開設の目的は、地域医療に貢献すること、また、日本歯科大学新潟生命歯学部の学生や新潟病院の臨床研修歯科医師に地域医療について教育することです。具体的には、臨床実習生（学部5年生）や臨床研修歯科医師が、地域歯科医療連携や地域包括ケアシステムを学ぶための実地研修の場であり、サービス担当者会議や退院時共同指導等へも積極的な参加を行っています（図2）。しかし、新型コロナ感染症の蔓延以降、臨床実習生の教育は中止となり、臨床研修歯科医師のみの実地研修となってしまいましたが、令和5年度より再開を検討しているところです。

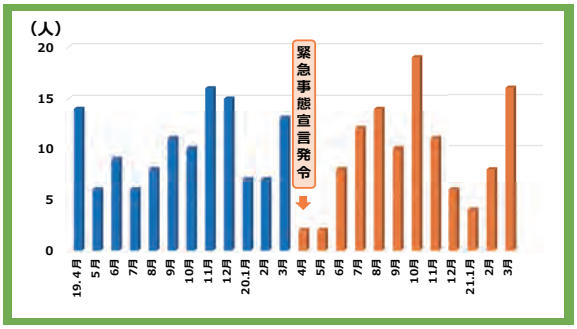


●図2：在宅ケア新潟クリニック連携体制

◆訪問歯科診療について

厚生労働省より「歯科治療の需要の将来予測（イメージ）」が公表され、歯の形態の回復から口腔

機能の回復を目指す治療が増えることが予測され、すでに現実となっています。しかし、高齢者の残存歯が増えた反面、要介護高齢者も増加しており、思うように自身での口腔清掃ができずに口腔環境が悪化する患者様や、身体機能の低下により口腔機能の維持や回復が難しい患者様が増えている印象があります。このような患者様への支援体制、つまり地域包括ケアシステムの構築を進めることが重要であると感じています。また、地域包括ケアシステムの中で、我々歯科医師が何をすべきなのか明確なビジョンを持って取り組んでいく必要があると考えています。



●図3：初診患者数（再来初診含む）

在宅ケア新潟クリニックでの訪問歯科診療ですが、令和2年2月の新型コロナ感染拡大までは順調に初診患者数も伸びていましたが、令和2年4月の緊急事態宣言発令後は、診療の縮小を余儀なくされ、一時的に診察患者数は減少いたしました（図3）。また、感染や密を回避するために対応する歯科医師を減らしたことで、医療者側の診療への負担が増加しました。当初、新聞等のマスメディアで感染率の高い職業として、歯科医師や歯科衛生士が報道されたこともあり、患者様の歯科への受診控えや、医療者側の感染への懸念から患者数が減少した医療機関も多かったものと思われます。

新型コロナ感染拡大後は、手指衛生や個人防護具(Personal Protective Equipment、PPE)を徹底した感染対策下での診療を行いましたが、総合病院や介護施設でのクラスターの懸念や発生により、しばらく訪問歯科診療ができない時期もありました。現在は、新型コロナ感染は下火になり、2類から5類へ変更されますが、特に要介護高齢者が多い訪問歯科診療では、感染対策を緩めることなく、今後も同様の感染対策のもと訪問歯科診療を継続する予定です。

◆おわりに

在宅ケア新潟クリニックでは、様々な通院困難な患者様の診療を行っており、要介護高齢者以外にも、障害や精神疾患をお持ちの患者様の訪問歯科診療も行っております。今後も、新型コロナ感染症対策を継続しながら地域医療に貢献できるよう可能な限り対応したいと考えておりますので、訪問歯科診療が必要な患者様がおりましたら気軽にご相談いただければと思います。


●医院内


●コロナ前


●コロナ後

連絡先・申込書

在宅ケア新潟クリニック
電話：0256-47-1212、FAX：025-47-1371
在宅ケア新潟クリニックHP：https://www.ngt.ndu.ac.jp/hospital/clinic/

新潟病院・在宅ケア新潟クリニック 主な診療スタッフ

＜病院長＞山口　晃　＜副院長＞大越　章吾、佐藤　聡、田中　彰、戸谷　収二

●診療科	●科　長	●医　長
総合診療科	海老原　隆	関　秀明 水橋　亮
口腔外科	戸谷　収二	小林英三郎
歯科麻酔・全身管理科	大橋　誠	—
小児歯科	三瓶　伸也	—
矯正歯科	小林さくら子	—
放射線科	小椋　一朗	—
訪問歯科口腔ケア科	白野　美和	—
口腔インプラント科	廣安　一彦	—
内科	大越　章吾	—
外科	大竹　雅広	—
耳鼻咽喉科	佐藤雄一郎	—

●センター	●センター長
障害児・者歯科センター	三瓶　伸也
睡眠歯科センター	猪子　芳美
口腔ケア機能管理センター	吉岡　裕雄

●特殊外来	●特殊外来医長
白い歯外来	海老原　隆
スポーツ歯科外来	渥美陽二郎
いき息さわやか外来	高塩　智子
あごの関節・歯ぎしり外来	水橋　史
口のかわき治療外来	戸谷　収二
歯科アレルギー治療外来	小根山隆浩
歯科鎮静リラックス外来	大橋　誠
顎のかたち・咬み合わせ外来	水谷　太尊
MRONJ外来	小林英三郎
歯の細胞バンク外来	
禁煙外来	大越　章吾

	●室　長
地域医療連携室	小根山隆浩

	●院　長	●医　長
在宅ケア新潟クリニック	田中　彰	髙田　正典

地域医療連携室よりお知らせ

●歯科部門の初診受付時間について

【診療時間】

曜日	歯科	医科
月～金	9:00～17:00 ((火)、(木)のみ小児・矯正歯科は18:00まで)	9:00～11:30 (午後休診)

【初診受付時間】

	歯科	医科
事前予約あり	9:00～11:30、14:00～16:00	9:00～11:30 (午後休診)
事前予約なし	紹介状有の場合：9:00～16:00 紹介状無の場合：9:00～11:30	

【備考】
- 土曜日は休診です。
- 急患は随時対応いたします。
- FAXは9:00～16:30で受付けています(16:30以降は翌日対応)。
- 電話は14:00～16:30で受付けています(緊急時は随時対応)。

地域医療連携室
TEL／025-211-8228(歯科)
025-211-8257(医科)
FAX／025-267-1546

編集後記

■コロナも下火となり、様々な対面での行事が再開され、コロナ前の状況に戻りつつあるものと思います。今回は、新潟病院での教育「歯科医師臨床研修制度」と歯科診療ユニットのない訪問歯科診療専門医院「在宅ケア新潟クリニック」についてご紹介いたしました。今後も皆様のお役に立てるよう教育・診療・研究ともに頑張る所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます(小根山)。

日本歯科大学新潟病院
IVY NEWS LETTER
Vol.48 2023.5.1
発行日／令和5年5月1日　発行人／山口 晃
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
TEL 025-267-1500(代) FAX 025-267-1546(連携室直通)